

大砂土東小学校 学校応援団だより

発行 大砂土東小学校 学校応援団事務局

地域はいつでも児童の皆さんを応援しています

大砂土東地区自治会連合会 会長 大河戸 千鶴子

本会は大砂土東地区内自治会長を会員として構成しています。私が副会長を務めていた平成22年度に本会は、みんなで力を合わせて大砂土東小学校を更に元気な学校にするために学校応援団設立の発起人に名を連ねました。そのご縁でこれまで数回、本紙上で事業等の紹介をしていただいています。

本会の会則では、住民相互の融和及び連帯意識の高揚に関する事業を行うことを定めています。これを踏まえ今年度も、見沼区役所や関係団体と連携して、各種スポーツ活動、イベント、防犯・防災活動等を実施していく予定です。小学生の皆さんと特に関わりの深い事業としては、7、8月に地区内の多会場で行うラジオ体操会、「体育の日」に大砂土中学校で行う大砂土東地区スポーツフェスティバル、10月下旬に武道館で行う見沼区スポーツフェスティバル、11月の第2土曜日に堀崎公園等で行う見沼区ふれあいフェアがあげられます。子どもからシルバーまで幅広い世代の交流をとおして、児童の皆さんが学校内のみならず地域においてもそれぞれが有する良さを十分に発揮するとともに、地域理解・地域所属意識を徐々に高めていってほしいと期待しています。児童の皆さんの健全なる成長は、地域の大人が応援と協力を惜しまない共通の願いです。



学校応援団の活動は学校の活性化を促します

大砂土東小学校 校長 杉山 浩一郎

私が着任してから、はや3か月近くが経とうとしています。この間、学校応援団の皆様からの一層のお力添えをお願いするため、関係自治会長様宅へのあいさつ回りをはじめ、土曜チャレンジスクール説明会・青少年育成大砂土東地区会総会・金管バンド保護者会総会等への出席、お父さんの会主催のサツマイモ苗の植え付けへの参加、保護者宛に図書ボランティア・ソーイングボランティア・防犯ボランティアの募集通知の配付等をしてまいりました。また、週に1～2回は児童の登校時に学区内を自転車で巡回し、交通指導員及び交通安全活動地域協力者の皆様に日々のご支援を感謝申し上げてきたところです。今後も学校応援団の皆様が力強い応援をいただきながら、学校の活性化と学校・家庭・地域が一体となった児童の育成に努めてまいります。

ところで私は、本年度の学校経営を進めるにあたって、取組の重点の1つに地域との協働に基づく開かれた学校づくりを掲げ、そのために各種ボランティアとの連携強化や土曜及び放課後チャレンジスクールの充実等を図っていきたくと考えています。学校応援団の皆様には、この開かれた学校づくりについてもそれぞれのお立場から後押しをしていただけるものと期待しております。



児童が真心で伝えた「防犯ボランティアさん ありがとう！」

学校地域連携コーディネーター 長沼 幸男

本校児童会の福祉ボランティア委員会（以下 委員会）では毎年度3学期に、「防犯ボランティア連絡会議」の冒頭10分程度をお借りして、防犯ボランティアの皆様へ感謝の気持ちを伝える会を実施しています。平成25年度は2月6日（木）に実施し、その内容は防犯ボランティアの皆様へのお礼の手紙の贈呈、インタビュー及び合唱披露でした。

委員会では事前に、各学級にお礼の手紙の作成を依頼するとともに、委員会児童28名が数回集まって合唱曲「学校坂道」の練習を重ねました。これらの準備が実を結び、当日会議場は、児童の感謝の真心がぎっしりと詰まったホットな雰囲気になりました。私も同席させていただき、委員会児童の礼儀正しくキビキビとした動きや息の合った歌声に清々しい気分を味わったところです。当日の様子はカメラに収められ、全校児童には3月11日（火）の給食時にスライドショーの形でテレビ放送されました。以下に、お礼の手紙とインタビューの概要を紹介します。

お礼の手紙は、いずれの学級もすぐれて心のこもった文面で、防犯ボランティアの皆様にもお喜びいただきましたが、紙面の都合で4つだけ原文のまま掲載します。

- あさかかえりにいつもみていてくれてありがとうございます。これからもげんきにあいさつをしたいと思います。（1年2組）
- いつもあんぜんに見ていてくれてありがとうございます。わたしたちも気をつけるので、これからもよろしくおねがいします。（2年3組）
- いつも見守ってくれてありがとうございます。安心して登下校ができます。雨の日も休まずボランティアをしてくれてとてもうれしいです。これからもがんばってください。（4年5組）
- 防犯ボランティアのみなさん、毎朝パトロールをしてくれてありがとうございます。おかげ様で毎日安全に、元気に登校することができています。私達も人に尽くす気持ちを見習いたいです。（6年3組）

インタビューでは、児童から3つの質問がなされ、3名の防犯ボランティアさんが1問ずつ分担する形で次のようにお答えくださいました。

——どんな思いで防犯ボランティア活動に参加してくださっていますか？

「児童の皆さんが安心・安全な環境の中で、毎日楽しく元気に過ごせるようにと願いながら防犯ボランティア活動をしています」

——防犯ボランティアになられてよかったこと、大変だったことは何ですか？

「よかったことは、児童の皆さんから『ありがとう』の言葉をいただくたびに、私の中に元気が湧いてくることです。大変なのは、東門の前の道は車がよく通るので、皆さんが飛び出さないように気遣いながら旗を振ることです」

——大砂土東小の児童の登下校の様子はどうですか？

「登校については、15分ぐらいの間にほぼすべての班が校門を通過するので感心しています。防犯上も好ましいと思います。下校では、1、2年生がともに一列になって校門を出ていく姿がすばらしいと思う反面、高学年児童の一部が校舎の前でいつまでもおしゃべりなどをしていて下校が遅れ気味になっているのが少し気にかかりますね」



インタビューに答える防犯ボランティアさん

◆現在活動されている団体のご紹介◆

ジュニアリーダーは「子ども会のお兄さん・お姉さん」

大和田子ども会育成会 会長 山岸 利恵

大和田子ども会の主役はもちろん小学生会員ですが、事業の実施にあたっては、「子ども会のお兄さん・お姉さん」とも称される3名のジュニアリーダーの存在が欠かせません。たとえば、昨年度の「新入会員歓迎会&顔合わせ会」ではジュニアリーダーが進行役となって、①参加者の緊張をほぐし、楽しい雰囲気をつくるために導入ゲームを行った②新入会員・既会員・保護者の自己紹介を和やかに進めた③参加者の親近感と一体感を高めるためにレクリエーションを盛り上げた④新しい正副会長を決めるために小学生に立候補を促したり、立会演説をさせたり、多数決をとったりした——などの働きをしました。彼らはまた、小学生の遊び相手もしました。

ジュニアリーダーは、さいたま市子ども会育成会連絡協議会主催のジュニアリーダー養成研修会（初・中級）を受講した中学生・高校生ボランティアです。小学生たちは、年の近いジュニアリーダーが同じ目線で活動のサポートやアドバイスをしてくれることによって安心感を覚え、自信をもった振る舞いができるようになるとともに、彼らをとおして自分の近未来の姿をイメージすることができます。また、ジュニアリーダー自身も、事業の企画運営にかかわることによってリーダーシップを高め達成感や成就感を味わったり、年少者の笑顔や感謝の言葉に接することによって人の役に立つ喜びを体感したりするなど、人格形成に必要なたくさんの“栄養”を吸収して成長していきます。

ジュニアリーダーに関する課題としては、①子ども会を卒業してもジュニアリーダーになろうとする子が少ない②養成研修会を修了して登録されても部活動等で忙しく、なかなか子ども会や地域の活動に出て来られない——などがあげられます。

親子でついた餅の味は格別！

大砂土東小学校お父さんの会 会長 池田 達哉

本会では昨年から、新たな事業として「親子餅つき会」を取り入れました。今年は、親子合わせて54名の参加の下、以下のように実施しました。

- 目的** ①食育の一環として、日本の伝統食である餅のできるまでを学ぶ。
②餅つきに要する昔からの道具（セイロ、臼、杵等）の役割や使い方を学ぶ。
③親子・子ども同士・保護者同士で協力し、助け合いの心を学びつつ親睦を深める。

日時 平成26年3月9日（日） 午前10時から午後2時まで

場所 大砂土東小学校の中庭及び家庭科室 **参加費** 保護者、児童とも300円

内容 **前日**：①堀崎町自治会から備品の臼と杵を2セット借用し、水を張った臼に杵を浸した。
②もち米9kgを研ぎ、小分けにして水に浸した。 **当日**：①家庭科室のガスコンロの上に、水を入れた釜→もち米を入れたセイロ2段→蓋 の順に重ねてガスを点火した。蒸し上がったもち米をセイロごと中庭に運んで臼にあげ、保護者や子どもたちが代わるがわる餅つき体験をした。20分ほどついた後、餅の塊を手で小さくちぎり、砂糖醤油を絡めてから海苔を巻いたり、あんこを絡めたりして一人3～4個試食した。②再びもち米を入れた2段のセイロを蒸し、①と同様に餅つきをした。つき上がった餅を家庭科室に運び、お雑煮を作って食した。③空になったセイロにジャガイモを入れて蒸かし、ジャガバターをデザートとした。

感想 あんこ餅もお雑煮も、とにかく親子でついたお餅の味は格別でした。餅つきは日本の伝承文化なので、今年学んだノウハウを来年の餅つき会につなげていきたいと思えます。

今年の餅つき会は、2月9日（日）に堀崎町自治会館で開催を予定していましたが、雪のために延期しました。開催できるかどうか不安に思っていたのですが、地域の皆様、学校・PTA本部の方々のご協力でお記のとおり開催できましたことを、改めて深く御礼申し上げます。

●図書ボランティア こんぺいとうの会（代表 永盛 千春 様）

本校には、第1図書館（ブックランド松の木）と第2図書館（ブックランド松ぼっくり）を活動拠点とするボランティアグループ「図書ボランティア こんぺいとうの会」があります。当会は、在籍児童の保護者（6月9日現在50名）で構成され、今年度発足15年目を迎えました。先月9日のPTA総会では、当会の多年にわたる授業支援等の活動が評価され、会長より感謝状と記念品が贈られました。また当会には、学校応援団の立ち上げ段階から多大なるご協力を賜っています。そこで改めて、当会の目的や活動内容等について代表さんにお尋ねしました。

——貴会の目的を教えてください。

こんぺいとうの会の目的は、子どもたちに読書の楽しさを伝えるため、学校図書館の環境を整え、よりよい読書体験が提供できるよう工夫していくことです。

——「こんぺいとうの会」という貴会の名称の由来を教えてください。

ボランティアならではのユーモアと遊び心がはたらいて、「おおさとひがし → おさとうがし → 砂糖菓子ならこんぺいとう」と展開し、「こんぺいとうの会」と名付けたのです。

——貴会の活動内容を教えてください。

私たちの活動には、掲示グループ及び読み語りグループによる活動と、全体での活動があります。

掲示グループは、2つの図書館に季節に合わせた飾り付けや掲示を行ったり、傷んだ本の修理、新本・寄贈本へのコート掛けやラベル貼り等を行っています。

読み語りグループは、朝自習時におけるクラス単位での読み語り、業間おはなし会、読書朝会（写真）や読み語りを中心とした国語の授業への協力等を行っています。

全体では、業間休みに第2図書館で低学年児童の読書活動のお手伝いをしたり、毎学期末に両図書館の大掃除を行ったりしています。また就学時健康診断では、「子育て講座」の中で、読書環境の整備に関する製作物の展示や大型絵本の読み語り等を行っています。



「これはのみのびこ」を熱演

——貴会の活動規定には全体会を行う旨が載っていますね。どのような会ですか？

全体会は、全メンバーが対象で、役員決めのほか、報告・連絡・意思疎通等の場として機能しています。活動規定では適宜開くことになってはいますが、年を経るごとに会の運営が安定してきていますので、最近では新年度のメンバーが確定する5月と、一年間の活動を振り返る3月に開くことでおおむね足りています。全体会には校長先生をはじめ、司書教諭・学校図書館司書・学校地域連携コーディネーターの諸先生方にもご同席いただき、たくさんのアドバイスをいただいています。

——貴会の課題はなんですか？

図書館のより良い環境づくり、授業協力、朝自習での読み語り、業間おはなし会では、まだまだお手伝いをしていただけの方がが必要です。少しでも多くの方に図書ボランティア活動に興味を持っていただくために、見学会などを取り入れていきたいと考えています。

——最後に、大砂土東小の子どもたちへメッセージをお願いします。

これからももっと図書館を利用してもらえるよう、掲示などを工夫していきますので、楽しみに待っててくださいね。朝自習での読み語りや業間おはなし会なども引き続き計画していますので、たくさんのお話を聞いて、自分のお気に入りの一冊を見つけたり、お友だち同士で読み語りをし合っていて楽しんだりしてもらえればうれしいです。

（取材・編集 学校応援団事務局）

～問い合わせ先～

【学校応援団事務局】

大砂土東小学校 048-684-8003
学校地域連携コーディネーター 長沼 幸男